

# 秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第33回）

日時：令和4年1月13日（木）

午後3時30分～

場所：本庁舎1階 正庁

## 次 第

### 1 開 会

### 2 議 題

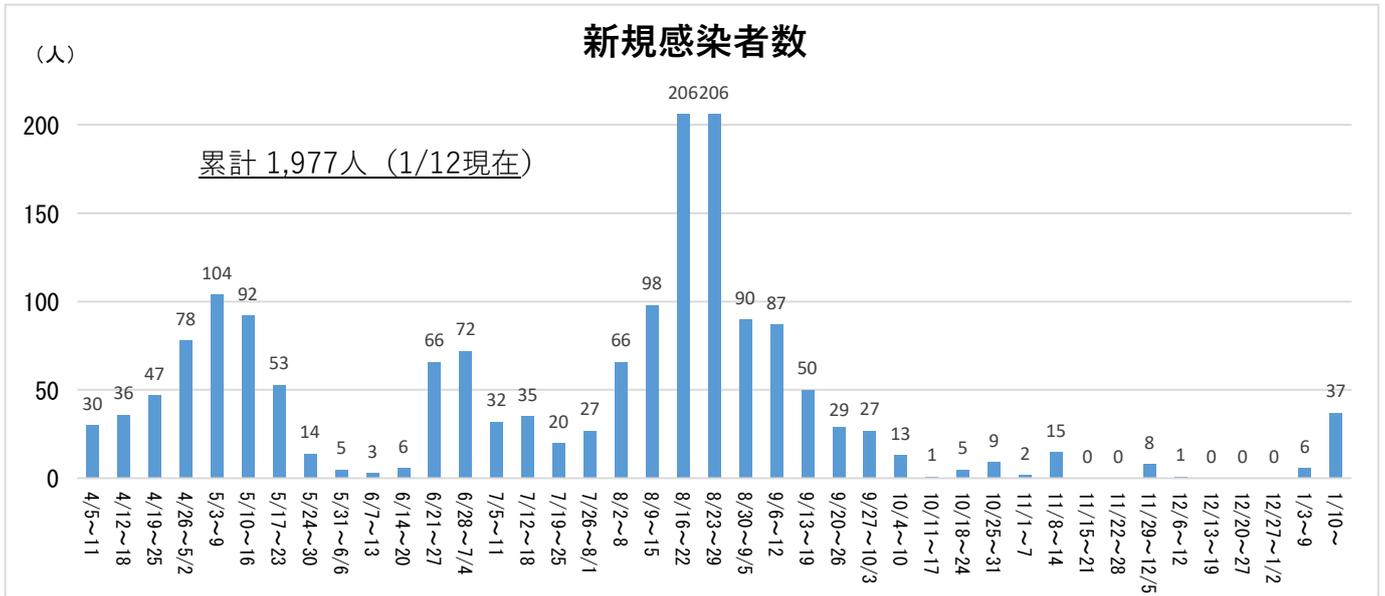
- (1) 新型コロナウイルス感染者の県内発生状況等について（資料1）
- (2) 新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染拡大への対応について（資料2）
- (3) 感染警戒レベル等について（資料3）
- (4) 新型コロナウイルス感染症に係る主な取組の状況について（資料4）
- (5) その他

### 3 知事指示

### 4 閉 会

# 新型コロナウイルス感染者の県内発生状況等について

令和4年1月13日  
健康福祉部

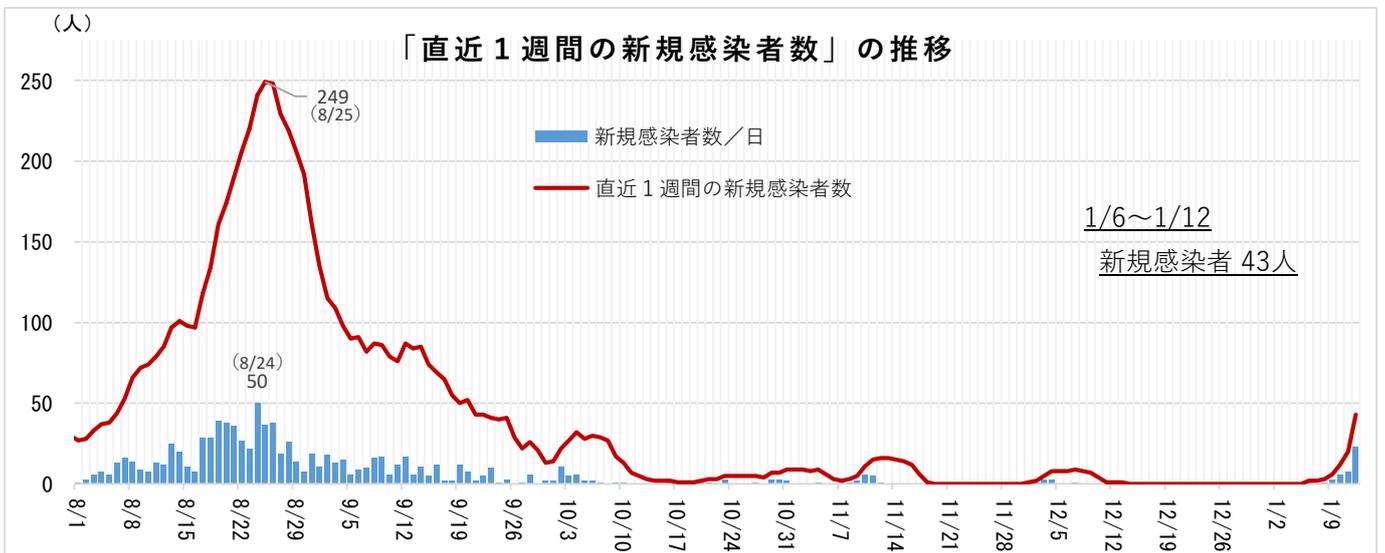


### 入退院者数等状況 (1/12現在)

累計感染者数	入院者	うち重症者	宿泊療養者	社会福祉施設等療養者	自宅療養者	入院等調整中	退院・療養解除者	死亡者
1,977人	20人	0人	0人	0人	0人	23人	1,907人	27人

### 1月以降の主な感染事例 ※【】は保健所管内

- 【能代】：会食 7人(1/11)
- ：飲食店 17人(1/12)



### 変異株の状況

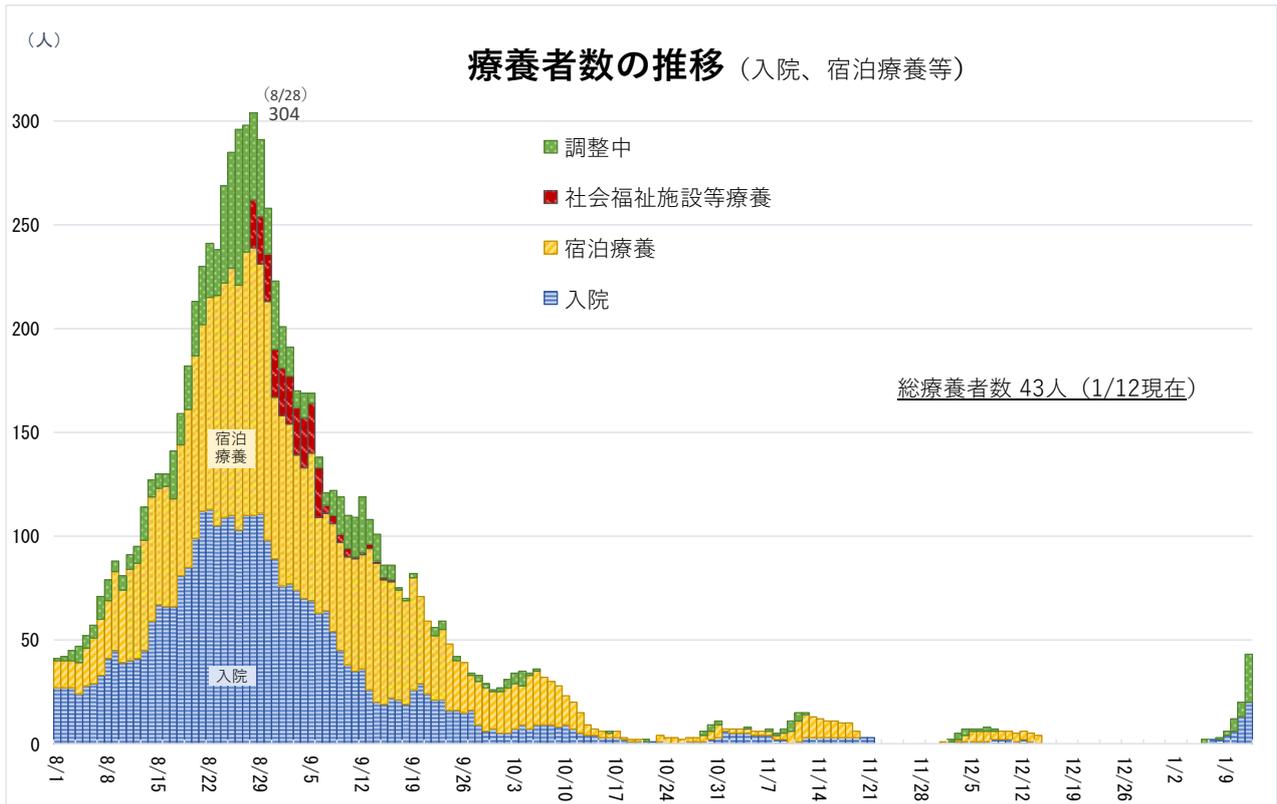
#### ①変異株スクリーニング検査 (1月9日現在)

検査期間	N501Y変異		L452R変異	
	検査件数	うち陽性 (陽性率)	検査件数	うち陽性 (陽性率)
1/3~1/9	12	12 (100%)	12	0 (0%)

#### ②ゲノム解析 (1月12現在)

種類	件数
オミクロン株	2

※N501Y変異「陽性」、L452R変異「陰性」でオミクロン株疑い  
 ※①は県健康環境センター及び秋田市保健所、②は秋田大学において実施



#### 入院病床及び宿泊療養施設の使用状況 (1/12現在)

(人、床・室)

入院病床 (フェーズ3)					宿泊療養施設		
入院者数 (うち重症)	現在の確保病床数 (うち重症者用)	病床使用率 (重症者用へース)	最大確保 想定病床数 (うち重症者用)	病床使用率 (重症者用へース)	療養者数	現在の確保居室数 (収容人員数)	居室使用率 (収容人員へース)
① (②)	③ (④)	①/③ (②/④)	⑤ (⑥)	①/⑤ (②/⑥)	⑦	⑧ (⑨)	⑦/⑧ (⑦/⑨)
20 (0)	140 (10)	14.3% (0.0%)	289 (24)	6.9% (0.0%)	0	395 (488)	0.0% (0.0%)

注) 上記のほか、23人が入院・療養調整中

#### 中和抗体薬の県内使用実績 (1/7現在)

ロナプリーブ：16病院 177症例 (うち循環器・脳脊髄センター 58症例)

ゼビュディ：1病院 2症例

#### 年代別 累計感染者数 (1/12現在)

(人)

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
129	251	380	303	329	211	143	109	122	1,977
(7%)	(13%)	(19%)	(15%)	(17%)	(11%)	(7%)	(6%)	(6%)	(100%)

#### 管轄保健所別 累計感染者数 (1/12現在)

(人)

大館	北秋田	能代	秋田中央	秋田市	由利本荘	大仙	横手	湯沢	計
82	12	120	165	1,079	140	246	66	67	1,977
(4%)	(1%)	(6%)	(8%)	(55%)	(7%)	(12%)	(3%)	(3%)	(100%)

## 年代区分別感染者数の割合

(R4年1月12日現在)

通算：R2年3月～R4年1月  
(1,977人)

うち R3年5月 (300人)

うち R3年6月 (120人)

うち R3年7月 (145人)

うち R3年8月 (604人)

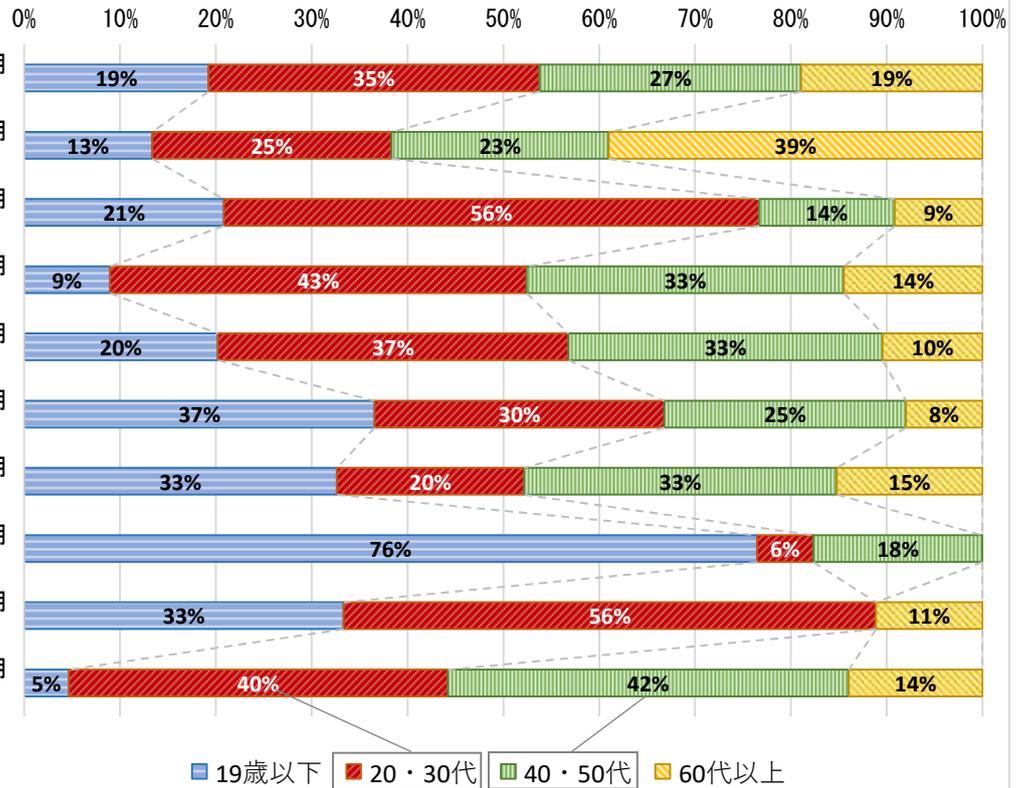
うち R3年9月 (238人)

うち R3年10月 (46人)

うち R3年11月 (17人)

うち R3年12月 (9人)

うち R4年1月 (43人)



## 管轄保健所別感染者数の割合

(R4年1月12日現在)

通算：R2年3月～R4年1月  
(1,977人)

うち R3年5月 (300人)

うち R3年6月 (120人)

うち R3年7月 (145人)

うち R3年8月 (604人)

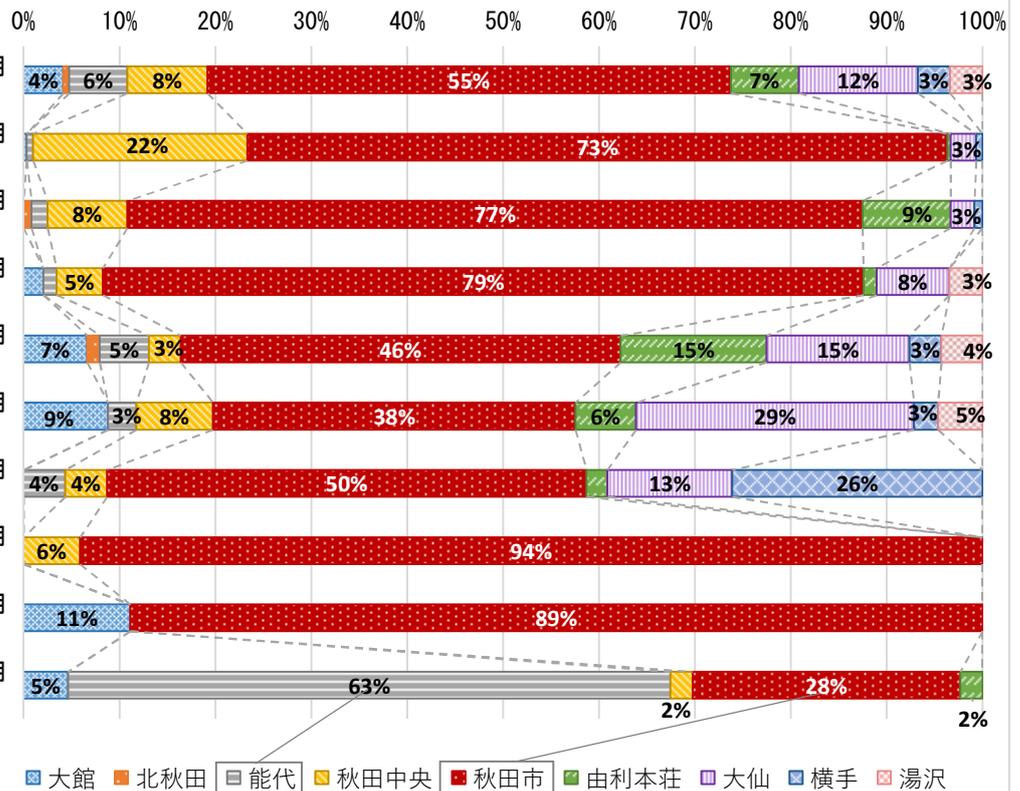
うち R3年9月 (238人)

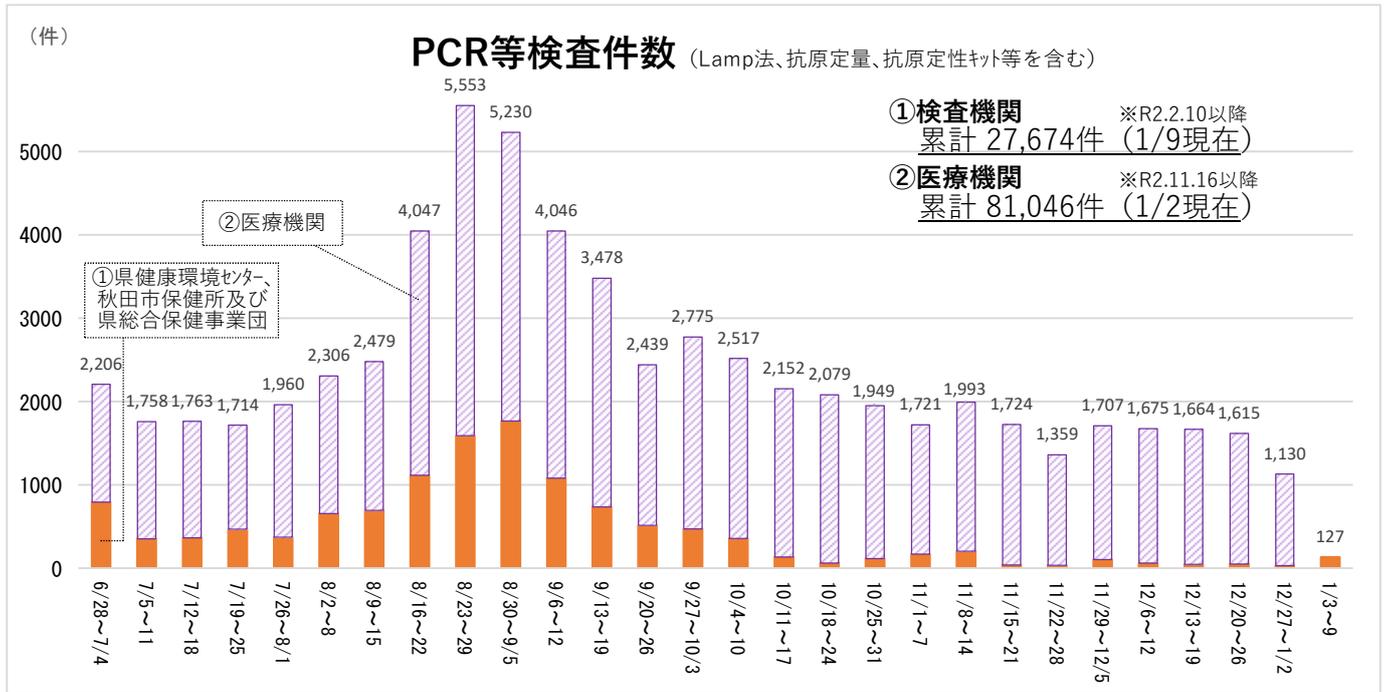
うち R3年10月 (46人)

うち R3年11月 (17人)

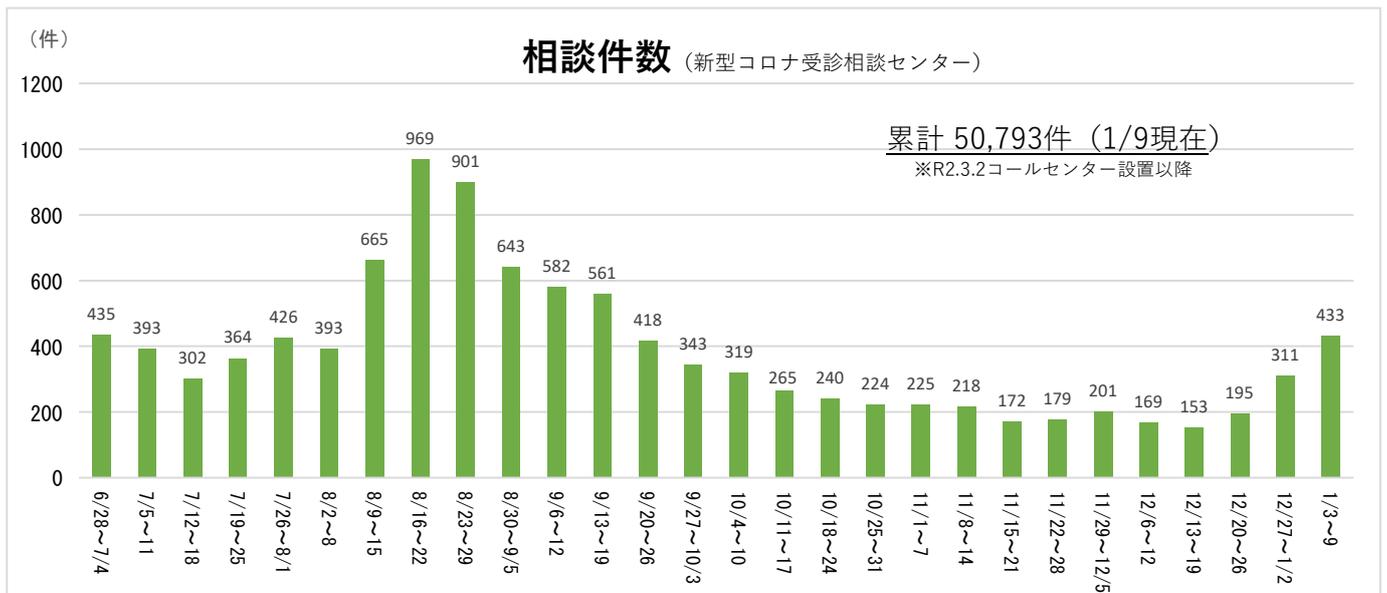
うち R3年12月 (9人)

うち R4年1月 (43人)

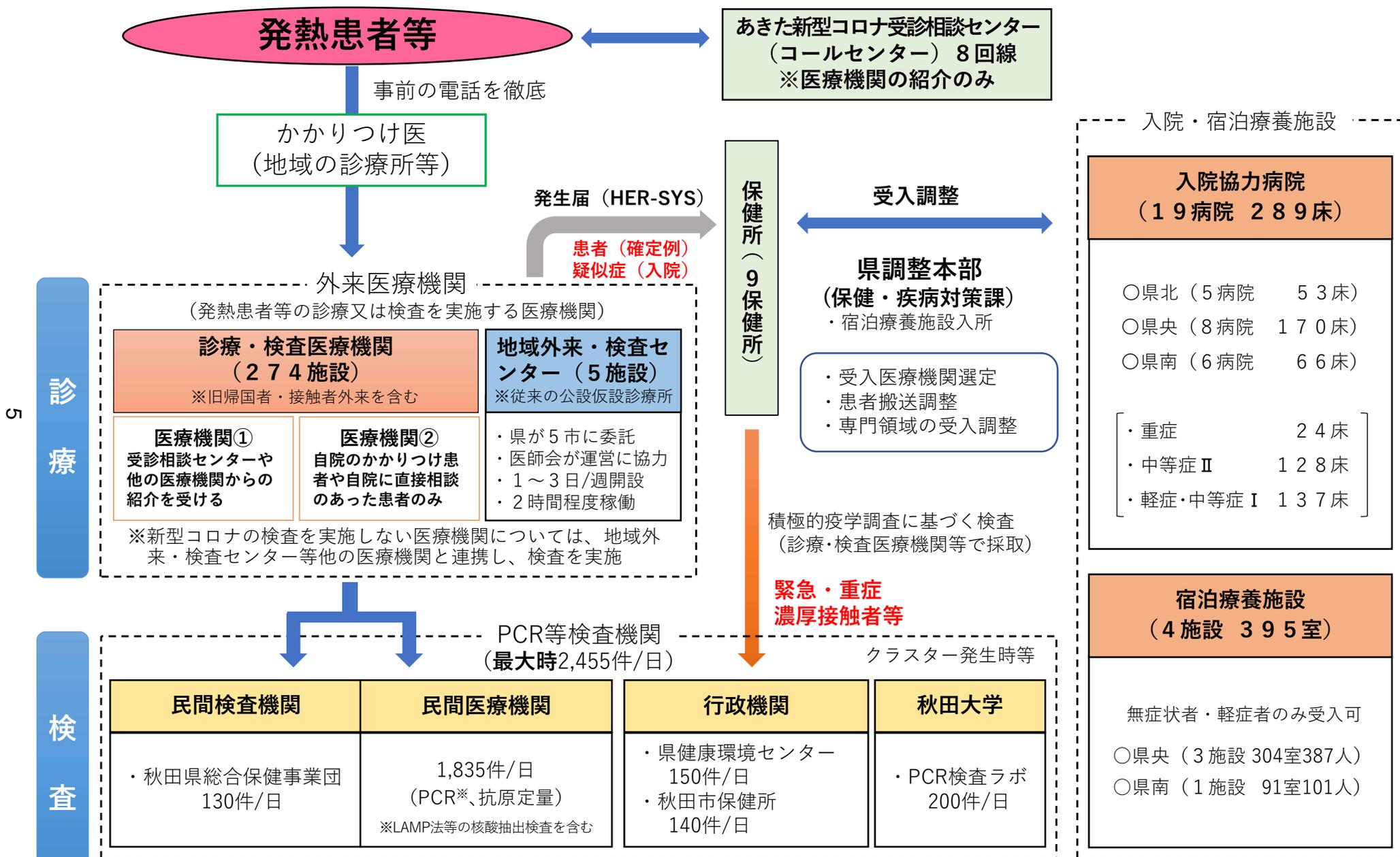




※医療機関における検査件数は、R2.11.16以降の検査から集計を開始。件数は、新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム (G-MIS) から県が集計した件数と、県医師会が集計した件数を合計した数値 (G-MIS集計分は1/2まで、県医師会集計分は11/28までの件数)



# 秋田県新型コロナウイルス感染症 外来医療・入院医療 全体図



**外来医療機関**  
(発熱患者等の診療又は検査を実施する医療機関)

<b>診療・検査医療機関 (274施設)</b> ※旧帰国者・接触者外来を含む	<b>地域外来・検査センター (5施設)</b> ※従来の公設仮設診療所
<b>医療機関①</b> 受診相談センターや他の医療機関からの紹介を受ける	<b>医療機関②</b> 自院のかかりつけ患者や自院に直接相談のあった患者のみ

※新型コロナウイルスの検査を実施しない医療機関については、地域外来・検査センター等他の医療機関と連携し、検査を実施

**PCR等検査機関 (最大時2,455件/日)**

民間検査機関	民間医療機関	行政機関	秋田大学
・秋田県総合保健事業団 130件/日	1,835件/日 (PCR※、抗原定量) ※LAMP法等の核酸抽出検査を含む	・県健康環境センター 150件/日 ・秋田市保健所 140件/日	・PCR検査ラボ 200件/日

**入院・宿泊療養施設**

**入院協力病院 (19病院 289床)**

- 県北 (5病院 53床)
- 県央 (8病院 170床)
- 県南 (6病院 66床)

[ 重症 24床 ]  
 [ 中等症Ⅱ 128床 ]  
 [ 軽症・中等症Ⅰ 137床 ]

**宿泊療養施設 (4施設 395室)**

無症状者・軽症者のみ受入可

- 県央 (3施設 304室387人)
- 県南 (1施設 91室101人)

※診療・検査医療機関、高齢者・障害者施設で使用する抗原定性検査キットも含め、最大時8,340件/日

## 新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染拡大への対応について

令和 4 年 1 月 1 3 日  
健 康 福 祉 部

## 1 医療提供体制

## ○即応病床の確保

- ・ 1 月 1 7 日から病床確保フェーズを引き上げ  
フェーズ 3（140 床）→ フェーズ 5（229 床）

## ○オミクロン株感染者等への対応

- ・ 感染急拡大による医療提供体制のひっ迫を未然に防ぐため、オミクロン株の感染者やその濃厚接触者について、以下の対応に変更  
感染者(疑い含む)：全員入院 → 無症状者・軽症者は宿泊療養も活用  
(※宿泊療養基準を満たす者に限る)  
濃厚接触者：宿泊療養施設で待機 → 自宅待機も可能

## ○宿泊療養施設の拡充

- ・ 県北地域での運用開始（1 月下旬を目途に準備中）

## ○経口治療薬の活用体制

- ・ ラゲブリオ（モルヌピラビル）配備のための登録施設の調整  
登録施設：医療機関 51 施設、薬局 32 施設

## ○自宅療養者の診療体制

- ・ 感染状況に応じ、医師会の協力を得て、自宅療養を可能とする体制を整備  
協力施設：診療所 60 施設、薬局 370 施設、訪問看護ステーション 7 施設

## ○患者受入先病床等の調整

- ・ 県調整本部で全県一元的に入院・宿泊療養先を迅速に調整

## 2 検査等体制

## ○保健所体制の確保

- ・ 積極的疫学調査等の迅速かつ的確な実施（濃厚接触者の特定や検査実施等）
- ・ 感染状況に応じた保健師等の職員体制（感染拡大地域の保健所への応援派遣等）
- ・ 外部委託による保健所の業務負担軽減（濃厚接触者の健康観察、感染者移送等）

## ○変異株スクリーニング検査の実施

- ・ オミクロン株の特徴に対応した検査の実施（県健康環境センター、秋田市保健所）

○無症状者へのPCR等検査無料化事業

- ・検査実施場所の拡充 10施設（1/4時点）→16施設（1/14時点予定）
- ・特設ウェブサイト、ポスター・のぼり等による周知広報を予定

### 3 ワクチン接種

○県内の接種状況（1月12日確認時点）

	1回目	2回目	3回目
総接種回数	820,675	810,418	5,201
全人口の接種率 (971,288人)	84.5%	83.4%	0.5%

※首相官邸ウェブサイトの都道府県別公表値（1月11日までの接種回数）

※全人口は、令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口による。

○追加接種（3回目接種）の促進

- ・原則8か月以上とされている2回目と3回目の接種間隔について、医療従事者、高齢者施設入所者・従事者等では、6か月以上の間隔での接種が可能
- ・1月7日開催の秋田県・市町村緊急時連絡会議において、可能な限り前倒して接種を進めるよう市町村に要請

○5歳以上11歳以下の者（小児）への接種

- ・国は、小児への接種を3月以降開始する方針を表明
- ・小児への接種が可能となり次第、速やかに対応できるよう準備を進める。

### 4 その他対応

○高齢者施設等への注意喚起

- ・隣県でのオミクロン株の市中感染疑いを受け、感染予防対策の徹底を通知（1/4）

【参考】保健・医療提供体制確保計画（11/30策定）

（床・室）

フェーズ分類		フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4	フェーズ5	フェーズ6
フェーズ 切替基準	新規感染者数	県内感染者 無し	県内感染者 1名発生	7人/週	25人/週	50人/週	100人/週
	病床使用率	—	—	フェーズ2 病床の30%	フェーズ3 病床の30%	フェーズ4 病床の30%	フェーズ5 病床の30%
病床 確保等	即応病床（うち重症）	45（1）	109（6）	129（10）	158（12）	229（15）	289（24）
	宿泊療養居室	395（488人）					

## 感染警戒レベル等について

令和4年1月13日  
秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部

### 1 現在の状況

- ・ 全国的に「オミクロン株」による感染が急速に増加しており、政府は、1月9日から31日までの期間、広島県、山口県及び沖縄県を対象区域として、まん延防止等重点措置を適用した。
- ・ 県内においては、先週、30日ぶりに新規感染者を確認して以降、県外往来によると推察される感染が増加しており、一部地域において、クラスターも発生しているが、現時点で感染者はすべて無症状又は軽症となっている。

### 2 県の感染警戒レベルの維持

新規感染者数は増加傾向にあるものの、病床使用率の状況や感染の拡大が一部地域に限られていることを踏まえ、県の感染警戒レベル「2」を維持する。

### 3 県民への要請内容

#### (1) 県外との往来

- ① まん延防止等重点措置区域との不要不急の往来は避けること。やむを得ず往来する場合は、帰県の際のPCR等の検査や帰県後の健康観察の徹底など感染防止対策を万全にすること。
- ② ①以外の地域との往来は、訪問先等の感染状況を踏まえて判断すること。特に大都市圏など感染が拡大している地域との往来は慎重に判断すること。
- ③ 県外との往来に当たっては、不織布マスクの正しい着用、手洗いなどの基本的な感染防止対策を徹底した上で、感染に十分注意して行うこと。  
ただし、発熱等の症状がある場合は、往来を控えること。
- ④ 県外との往来の後、無症状であっても感染の不安を感じる場合は、「感染拡大傾向時の一般検査事業（無料のPCR等検査）」を積極的に活用すること。

#### (2) 感染リスクの回避（オミクロン株対策の徹底）

従来株よりも感染力が強いオミクロン株に対応するため、これまで以上に感染リスクの回避に留意すること。

- ① 飲食を伴う集まりは、「長時間を避け」、「マスク会食」を行うとともに、「参加人数に応じた席の配置」や「十分な換気」を徹底すること。
- ② イベント等の開催に当たっては、「三つの密」が発生しない席の配置や「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」など基本的な感染防止対策を徹底すること。

#### (3) ワクチン接種後の感染防止対策

ワクチンを2回接種した後も、不織布マスクの正しい着用、手洗いなどの基本的な感染防止対策を徹底するとともに、(2)記載のとおり、感染リスクが高まる行動を控えること。

## 新型コロナウイルス感染症に係る主な取組の状況について

令和 4 年 1 月 1 3 日  
秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部

### 【飲食店・宿泊施設における感染防止対策への支援等】（生活環境部、産業労働部、観光文化スポーツ部）

#### （１）飲食店の認証制度

適切な感染防止対策を講じる飲食店を認証する制度の導入

- ・ 申請期間：R3. 5. 28～R4. 2. 28
- ・ 申請件数：733 施設（1. 11 現在）
- ・ 認証件数：585 施設（1. 11 現在）

#### （２）飲食店感染予防環境整備支援事業（新型コロナ対策認証枠）

飲食店の認証取得に向けた設備導入への助成

- ・ 補助率：4/5（上限額 30 万円）
- ・ 申請期間：R3. 5. 28～R4. 2. 28
- ・ 申請件数：456 施設（1. 11 現在）

#### （３）宿泊施設感染防止対策等支援事業の実施

感染防止対策等ための物品購入や施設改修等に必要な経費への助成

- 感染防止対策のための物品購入等への支援
  - ・ 補助率：2/3（上限額 200 万円）※認証取得に向けた取組は 4/5
  - ・ 申請期間：R3. 5. 28～R4. 2. 28
  - ・ 申請件数：109 施設（1. 7 現在）
- 感染防止対策等のための施設改修等への支援
  - ・ 補助率等：1/2（上限額 500 万円）※経営改善計画策定は 2/3（1,000 万円）
  - ・ 申請期間：R3. 6. 2～R3. 11. 19
  - ・ 申請件数：59 施設（1. 7 現在）

### 【企業の事業・雇用継続に対する支援等】（産業労働部）

#### （１）資金繰り支援

受注減等による経営不振の中小企業に対する経営安定資金の貸付

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策枠（R3. 4. 1～12. 31）：32 件、9. 0 億円
- ・ 危機関連枠＜売上高等 15%以上減少＞（R3. 4. 1～12. 31）：696 件、87. 1 億円

#### （２）雇用維持支援金の給付

雇用維持に努める中小企業に対する雇用調整助成金の受給状況に応じた支援金の給付（1回：10 万円、2回：20 万円、3回以上：30 万円）

- ・ 交付決定（R3. 4. 1～7. 30）：215 事業所、38,400 千円（最終）
  - [主な内訳] 製造業：52 事業所、9,000 千円
  - 卸売・小売：60 事業所、10,800 千円
  - サービス業：32 事業所、5,500 千円

### (3) PCR等検査に要する費用への助成

中小企業の従業員等が県外出張後に行うPCR等検査の費用への助成

- ・交付決定 (1.7 現在) : 50 件 (103 検査分)、946 千円

### (4) 飲食店への支援金の給付

売上が大きく減少した飲食店及び飲食店関連事業者に対し、事業継続を支援するため、支援金を給付

- ・対象者 次の要件をすべて満たす中小企業者等
  - (1) 県内に本店又は主たる事業所を有する中小企業者等 (個人事業主含む)
  - (2) 飲食店又は、飲食店と継続的に直接取引のある事業者 (飲食店関連事業者)
  - (3) 直近決算期の売上が前年度又は、前々年度と比較して20%以上減少していること。
- ・支援金額 1事業者当たり売上金額3千万円につき30万円 (上限300万円)
- ・申請受付 令和4年10月27日～令和4年1月31日まで
- ・申請件数 2,067件 902,700千円(1/7 現在)

### (5) 販路開拓・取引拡大を支援

ウィズコロナに対応した新たなスタイルの展示会等への出展を助成

- ・交付決定 (一次募集 R3.7.7～8.6) : 13 件、2,902 千円  
(二次募集 R3.8.16～9.30) : 2 件、277 千円  
(三次募集 R3.10.4～12.10) : 5 件、1,323 千円
- ・補助率 : 1/2 (上限額 30 万円)

## 【宿泊・観光需要の喚起等】 (観光文化スポーツ部)

### (1) 「旅して応援！」あきた県民割キャンペーンの実施

- 県内旅行代金の割引  
県内在住者を対象に、県内を目的地とする旅行商品 (日帰り含む) 及び宿泊代金について、1人1泊 (日帰りは1回) 当たり5,000円を上限に割引
  - ・対象期間 : 令和3年12月31日 (1/1チェックアウト) まで  
ただし、10月31日までに予約・販売されたものに限る。
  - ・精算状況 (1.4 現在 速報値) : 1,897,871 千円 ※精算率 90.8%
- 地域限定クーポン券の発行  
土産店、飲食店等で旅行期間中に使用できる地域限定クーポンを1人1泊 (日帰りは1回) 当たり最大2,000円を上限に配布
  - ・精算状況 (1.4 現在 速報値) : 831,404 枚、831,404 千円 ※精算率 99.4%

### (2) 「秋田の魅力を再発見！」旅行商品造成支援事業の実施

県内の魅力を感じられる県民向け旅行商品の造成・販売を支援

- ・送客助成 : 1人当たり 3,000円 ・バス助成 : 1台当たり 75,000円
- ・対象期間 : 令和3年10月31日まで
- ・実績状況 : 27社、202本、34,028千円

### (3) 冬季宿泊・観光関連事業者支援事業（あきた冬割キャンペーン!）の実施

#### ○ 宿泊事業者への助成

冬季の県民向け宿泊プランを造成し、割引価格で販売した宿泊事業者に対して、1人1泊当たり5,000円を上限に助成する。

- ・対象期間：令和3年11月19日～令和4年2月28日
- ・対象者：県内在住者（令和4年1月1日から隣接4県の在住者を追加）
- ・助成額：1/2（上限5,000円）
- ・限度額：1事業者当たり250万円
- ・人泊数：172,500人泊（予定）
- ・精算状況（1.11現在 速報値）：408件 84,436千円 ※精算11.5%

#### ○ 観光関連施設応援クーポンの発行

上記宿泊プランの利用者に対し、旅行期間中に使用できるクーポンを1人1泊当たり1,000円分を配付する。

- ・対象施設：観光関連施設（道の駅、土産店、観光体験施設等）
- ・配付枚数：172,500枚（予定）
- ・精算状況（1.11現在 速報値）：19,290千円 ※精算11.9%

### (4) スキー場を活用した冬季誘客促進事業の実施

スキー場への誘客により冬季観光の振興を図るため、県内在住者を対象としたリフト代金等の割引券を発行する。

- ・発行枚数：2,000円割引（リフト・食事等） 10,000枚  
7,000円割引（リフト・食事＋レンタル等） 5,000枚
- ・対象施設：秋田県スキー場協会加盟14スキー場
- ・対象期間：令和3年12月～令和4年3月上旬
- ・精算状況（1.11現在 速報値）：2,259千円 ※精算率4.2%

### (5) 冬季旅行商品造成支援事業の実施

冬季における旅行商品の開発・魅力増進を図るため、県内の旅行者に対し、秋田の魅力ある県民向け冬季旅行商品の造成・販売を支援する。

- ・補助先 県内の旅行者
- ・補助額 送客補助 1人当たり上限 6,000円  
広告補助 1社当たり上限 300,000円
- ・限度額 1事業者当たり530万円
- ・対象期間 令和3年11月～令和4年2月まで
- ・申請状況 （1.11現在） 26社、44,737千円（宿泊5,291人泊、日帰り4,387人）

### (6) 県内空港利用促進緊急対策事業の実施

#### ○ 県内空港県民利用促進事業

県民が航空路線を往復利用する場合、航空運賃の一部をキャッシュバックする。

- ・対象者：秋田空港、大館能代空港の航空路線を往復利用する県内居住者  
※旅費が支給されるビジネス利用やマイレージ等による無償利用は対象外
- ・助成額：5,000円/1往復
- ・対象期間：令和4年1月15日～2月28日（申請期限3月8日）

○ 空港ターミナルビルテナント利用促進事業

航空路線利用者が空港ビル内のテナントで使用可能な割引クーポンを発行する。

- ・対象者：秋田空港、大館能代空港の航空路線利用者
- ・額面：1,000円（税込2,000円以上の商品購入・飲食に使用可能）
- ・発行枚数：秋田空港 10,000枚 大館能代空港 2,500枚
- ・使用期間：令和4年1月15日～2月28日（発行は2月23日まで）

**【県産品の消費喚起】（観光文化スポーツ部）**

**（1）県産品のネット販売拡大の支援**

県産品の消費喚起を図るため、県産食品をネット販売する県内事業者の送料等を助成

- ・対象期間：令和3年4月27日～令和3年10月31日
- ・実績状況（12.20現在）：補助実績18,168千円（18社）

**（2）県産品消費喚起キャンペーンの展開**

県内量販店等の県産品コーナー等で購入した商品を県外に発送する際に送料が軽減されるキャンペーンを展開

- ・対象期間：令和3年5月1日～令和3年8月31日
- ・実績状況（12.20現在）：補助実績11,030千円（12社）、発送件数23,896件

**【学校における新型コロナウイルス感染症対策の強化】（教育庁）**

校内の消毒作業など新しい生活様式に対応した校内環境の整備に当たるサポーターの配置

- ・18市町村の小・中・義務教育学校に91名配置（4.1～）

**【全国大会参加者等へのPCR検査支援】（観光文化スポーツ部、教育庁）**

**（1）国民体育大会参加選手等における感染検査の実施**

東北総合体育大会及び国民体育大会に参加する選手団等の感染予防対策を徹底するため、選手・監督・役員等について大会出場に係るPCR検査を実施

○東北総合体育大会（開催地：山形県、主会期：R3.8.20～R3.8.22）

（19競技 370人にPCR検査を実施）

結果判明数：370人 全て陰性

※国民体育大会（本大会）については中止により実績なし

**（2）全国大会等出場校における感染検査への支援**

対象者：部員、引率者 等

対象大会：全国組織及び東北地区の各連盟（高体連・高野連・中体連・高文連等）が主催・共催する大会及び全国障害者スポーツ大会

予算額：259,120千円

申込者数：523団体（3,691人） ※1.12時点

結果判明数：3,399人 全て陰性

**【道の駅、空港等における注意喚起】（建設部）**

注意喚起ポスターを、道の駅、高速道路のSA・PA、空港ターミナル、都市公園等へ掲示中